

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成24年2月16日(2012.2.16)

【公開番号】特開2010-253311(P2010-253311A)

【公開日】平成22年11月11日(2010.11.11)

【年通号数】公開・登録公報2010-045

【出願番号】特願2010-183001(P2010-183001)

【国際特許分類】

A 6 3 F 5/04 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 5/04 5 1 6 F

【手続補正書】

【提出日】平成23年12月21日(2011.12.21)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

1ゲームに賭ける賭数が設定されることによりゲームを開始させることが可能となり、可変表示装置の表示結果が導出表示されることにより1ゲームの終了条件が成立し、該可変表示装置の表示結果に応じて予め定められた特別入賞が発生した後に、当該特別入賞に基づいた特別ゲームをすることが可能な特別遊技状態になるスロットマシンであって、

前記特別入賞の発生を許容するか否かを前記可変表示装置の表示結果が導出される前に決定する入賞許否決定手段を含み、ゲーム状況を特定可能なコマンドを送信する遊技制御手段と、

前記コマンドを受信して演出制御を行なう演出制御手段とを含み、

前記演出制御手段は、前記特別遊技状態に関連する所定のタイミングで遊技者にとって有利な特定遊技状態に制御する特定遊技状態制御手段を含み、

前記特定遊技状態制御手段は、前記特定遊技状態の制御の有無を決定する特定遊技状態決定手段を含み、前記コマンドに基づいて前記特定遊技状態を制御し、

前記特定遊技状態制御手段は、前記特別入賞の発生が許容されない状態が所定ゲーム数継続した後に前記特別入賞の発生が許容された場合には前記特別入賞の発生が許容されない状態が前記所定ゲーム数継続する前に前記特別入賞の発生が許容された場合よりも高い確率で前記特定遊技状態に制御し、

前記入賞許否決定手段は、前記特別入賞の発生が許容されない状態が前記所定ゲーム数継続する前と前記所定ゲーム数継続した後とで同じ決定率で前記特別入賞の発生を許容することを決定することを特徴とする、スロットマシン。

【請求項2】

前記スロットマシンの入賞役として、複数種類の小役が予め定められており、

前記入賞許否決定手段は、小役入賞の発生を許容するか否かを前記可変表示装置の表示結果が導出される前に決定し、

前記特定遊技状態制御手段は、前記遊技制御手段から送信される前記コマンドに基づいて、入賞の発生が許容されている小役の種類を報知可能な報知制御手段とを含み、

前記特定遊技状態は、前記報知制御手段により、前記複数種類の小役のうちの少なくとも一部の小役を対象として入賞の発生が許容されている小役の種類が報知され得る遊技状態であることを特徴とする、請求項1に記載のスロットマシン。

**【請求項3】**

前記特定遊技状態は、前記特別遊技状態中において発生することを特徴とする、請求項1または請求項2に記載のスロットマシン。

**【請求項4】**

前記特定遊技状態は、前記特別遊技状態の終了後において発生することを特徴とする、請求項1～請求項3のいずれかに記載のスロットマシン。

**【請求項5】**

前記所定ゲーム数は、前記特別遊技状態が終了してから前記特別入賞の発生が許容されるまでの期間に行なわれたゲーム数に基づいて算定されることを特徴とする、請求項1～請求項4のいずれかに記載のスロットマシン。

**【請求項6】**

前記特定遊技状態制御手段は、所定期間経過後に前記特定遊技状態への制御条件が成立したときには、前記所定期間経過前に前記制御条件が成立したときよりも前記制御条件の成立に伴って発生させる特定遊技状態の遊技者にとっての有利度合いが高まるように制御することを特徴とする、請求項1～請求項5のいずれかに記載のスロットマシン。

**【手続補正2】**

**【補正対象書類名】**明細書

**【補正対象項目名】**0006

**【補正方法】**変更

**【補正の内容】**

**【0006】**

(1) 1ゲームに賭ける賭数が設定されることによりゲームを開始させることができとなり、可変表示装置(リール4)の表示結果が導出表示されることにより1ゲームの終了条件が成立し、該可変表示装置の表示結果に応じて予め定められた特別入賞(たとえば、ビッグボーナス入賞)が発生した後に、当該特別入賞に基づいた特別ゲーム(ビッグボーナスゲーム)をすることが可能な特別遊技状態(たとえば、ビッグボーナス状態)になるスロットマシン(1)であって、

前記特別入賞の発生を許容するか否かを前記可変表示装置の表示結果が導出される前に決定する入賞許否決定手段を含み、ゲーム状況を特定可能なコマンドを送信する遊技制御手段と、

前記コマンドを受信して演出制御を行なう演出制御手段とを含み、

前記演出制御手段は、前記特別遊技状態に関連する所定のタイミング(たとえば、ビッグボーナス状態の終了後)で、遊技者にとって有利な特定遊技状態(たとえば、A T状態)に制御する特定遊技状態制御手段(たとえば、S U B 2 6)を含み、

前記特定遊技状態制御手段は、前記特定遊技状態の制御の有無を決定する特定遊技状態決定手段を含み、前記コマンドに基づいて前記特定遊技状態を制御し、

前記特定遊技状態制御手段は、前記特別入賞の発生が許容されない状態が所定ゲーム数継続した後に前記特別入賞の発生が許容された場合には前記特別入賞の発生が許容されない状態が前記所定ゲーム数継続する前に前記特別入賞の発生が許容された場合よりも高い確率で前記特定遊技状態に制御し、

前記入賞許否決定手段は、前記特別入賞の発生が許容されない状態が前記所定ゲーム数継続する前と前記所定ゲーム数継続した後とで同じ決定率で前記特別入賞の発生を許容することを決定する。

**【手続補正3】**

**【補正対象書類名】**明細書

**【補正対象項目名】**0007

**【補正方法】**変更

**【補正の内容】**

**【0007】**

上記の構成によれば、前記特別入賞の発生が許容されない状態が前記所定ゲーム数継続

した後に前記特別入賞の発生が許容された場合には前記特別入賞の発生が許容されない状態が前記所定ゲーム数継続する前に前記特別入賞の発生が許容された場合よりも高い確率で前記特定遊技状態に制御されるために、前記特別入賞の発生が許容されない状態が前記所定ゲーム数継続した後に前記特別入賞の発生が許容された場合の遊技者の遊技意欲を極力持続させることが可能である。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0012】

(2) 前記スロットマシンの入賞役として、複数種類の小役（たとえば、小役1～小役3）が予め定められており、

前記入賞許否決定手段は、小役入賞の発生を許容するか否かを前記可変表示装置の表示結果が導出される前に決定し、

前記特定遊技状態制御手段は、前記遊技制御手段から送信される前記コマンド（たとえば、当選状況通知コマンド）に基づいて、入賞の発生が許容されている小役の種類を報知可能な報知制御手段（たとえば、演出制御基板101）とを含み、

前記特定遊技状態は、前記報知制御手段により、前記複数種類の小役のうちの少なくとも一部の小役を対象として入賞の発生が許容されている小役の種類が報知され得る遊技状態（たとえば、A T状態）である。

【手続補正9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0013】

上記の構成によれば、特定遊技状態中、遊技者は、小役入賞を発生させやすくなり、遊技を有利に進めることができる。

【手続補正10】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0014】

(3) 前記特定遊技状態は、前記特別遊技状態中において発生する（たとえば、ピッギボーナス状態中に、併せてA T状態となる。）。

【手続補正11】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0016

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0016】

(4) 前記特定遊技状態は、前記特別遊技状態の終了後において発生する。

上記の構成によれば、前記特定遊技状態は、前記特別遊技状態の終了後において発生するために、特別遊技状態という遊技者にとって有利な状態が終了することで遊技者の遊技意欲が低下してしまうことを極力防止できる。

【手続補正12】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0017

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正13】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0018

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正14】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0019

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0019】

(5) 前記所定ゲーム数は、前記特別遊技状態が終了してから前記特別入賞の発生が許容されるまでの期間に行なわれたゲーム数（たとえば、B B当選待ゲーム数）に基づいて算定される（たとえば、S U B 3 1）。

【手続補正15】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0020

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0020】

上記の構成によれば、前記特別遊技状態が終了してから所定ゲーム数を消化した後に前記特別入賞の発生が許容された場合の遊技者の遊技意欲を極力持続させることが可能である。

(6) 前記特定遊技状態制御手段は、所定期間経過後に前記特定遊技状態への制御条件が成立したときには、前記所定期間経過前に前記制御条件が成立したときよりも前記制御条件の成立に伴って発生させる特定遊技状態の遊技者にとっての有利度合いが高まるよう~~に制御する。~~